

成績評価及び客観的な成績指標の算出方法（2018年度以前の入学生）

成績評価の時期	原則各科目の終了時
成績評価の内容	期末試験、レポート、授業態度等を総合的に判断し、A・B・C・Dの評価を付与します。
成績評価の基準	A（100～80点） B（79～70点） C（69～60点） D（59～0点）…単位未修得
考査資格	科目終了時に当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考査の対象となりません。従って成績いかに関わらずD評価となり追試験を受験しなければなりません。 短大・大学併修の学科においてはレポートの評価や添削問題が不合格の場合、当該科目の単位が認められません。また期限までにレポートの提出が認められなかった場合、考査資格は与えられません。
追試験	当該科目がD評価の場合は追試験の機会が与えられます。追試験に合格することで当該科目は原則C評価となります。
認定試験	追試験に合格しない者は科目保留となり、進級・卒業時に認定試験を受験することになります。ただし、学校長の判断により受験時期を変更する場合があります。
客観的な成績指標の算出方法（成績の分布状況の把握）	客観的な成績指標として、個人ごとに履修科目の成績評価を100満点で点数化し、全評価科目の平均点を算出します（不合格科目も含む）。その数値を用いて学科学年別に成績の分布状況を把握します。 成績指標と分布結果は、学期末に表彰される成績優秀者の選定や学習指導、進路選択や進級時特待生選考の指標の一つにも活用されます。